

10. 原子力災害時の医療等の実施体制 (安定ヨウ素剤・避難退域時検査・簡易除染を含む)

PAZ内住民に対する安定ヨウ素剤の事前配布

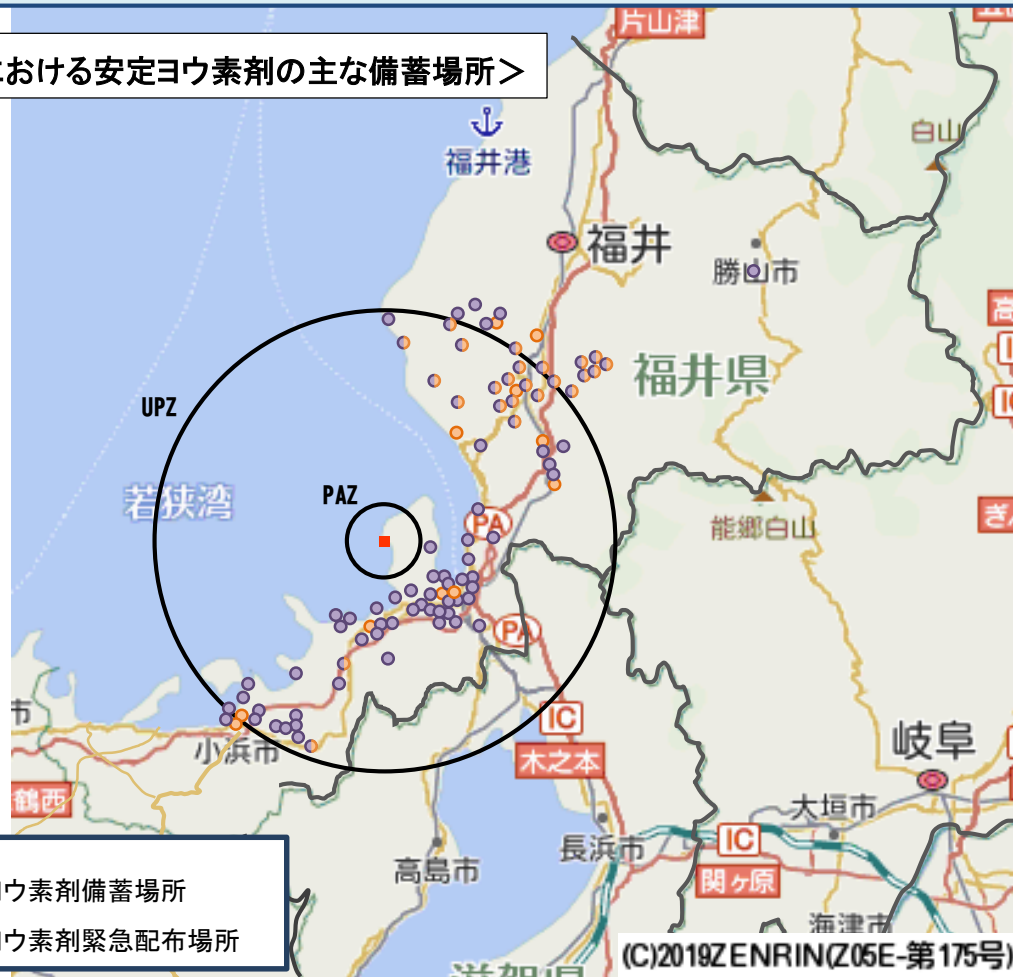
- 福井県美浜町及び敦賀市では、安定ヨウ素剤の住民説明会を平成26年より開催し、同時に事前配布を実施した。福井県では令和2年4月現在、698人に配布した。今後も継続して、未配布者に対するフォローを実施。
- 乳幼児向けのゼリー状安定ヨウ素剤についても事前配布と備蓄を実施。



地区	住民数 (人)	配布者数 (人)
みはまちょう 美浜町 みはまひがし 美浜東小学校区 にゅう たけなみ すがはま (丹生・竹波・菅浜)	787	646
つるがし 敦賀市 にしうら 西浦地区 しらき (白木1・2丁目)	61	52
合計	848	698

※対象住民数：令和2年4月現在
※配布者数：令和2年4月現在

- 避難住民等に対する安定ヨウ素剤の緊急配布に備え、福井県は計53箇所の施設に合計で丸剤1,920,000丸を備蓄及び乳幼児向けのゼリー状安定ヨウ素剤31,200包を備蓄。
- 緊急配布は県及び関係市町職員が、備蓄先より一時集合場所等に設置する緊急配布場所に搬送の上、対象住民等に順次配布を実施。
- 原子力事業者は、福井県から要請があった場合は可能な範囲で備蓄している安定ヨウ素剤を貸与。

 ふくいけん
 <福井県における安定ヨウ素剤の主な備蓄場所>


(凡例)

- : 安定ヨウ素剤備蓄場所
- : 安定ヨウ素剤緊急配布場所

安定ヨウ素剤備蓄場所

 ふくいけん
 福井県内: 53箇所中
 みはま
 美浜地域周辺備蓄: 35箇所

県及び市町職員により、安定ヨウ素剤の搬送を実施

安定ヨウ素剤の緊急配布を実施

 一時集合場所等
 (計81箇所)

みはまちょう	美浜町	: 10箇所
つるがし	敦賀市	: 24箇所
わかさちょう	若狭町	: 4箇所
おはまし	小浜市	: 11箇所
みなみえちせんちょう	南越前町	: 5箇所
えちせんし	越前市	: 19箇所
えちせんちょう	越前町	: 8箇所

- 避難住民等に対する安定ヨウ素剤の緊急配布に備え、^{しがけん}滋賀県は計135箇所の施設に合計で丸剤589,000丸、乳幼児向けのゼリー状安定ヨウ素剤4,660包を備蓄。
- 緊急配布は備蓄場所となっている一時集合場所等にて、県及び関係市職員が、対象住民等に順次配布を実施。

^{しがけん}
 <滋賀県における安定ヨウ素剤の主な備蓄場所>



安定ヨウ素剤備蓄場所

^{しがけん}
滋賀県: 135箇所中
^{ながはまし}
長浜市48箇所
^{たかしまし}
高島市85箇所

県及び市町職員により、安定ヨウ素剤の搬送を実施

安定ヨウ素剤の緊急配布を実施

一時集合場所等
 (計131箇所)

^{ながはまし}
長浜市(美浜UPZ周辺): 48箇所
^{たかしまし}
高島市(美浜UPZ周辺): 83箇所

- 避難住民等に対する安定ヨウ素剤の緊急配布に備え、岐阜県は計4箇所の施設に合計で丸剤1,056,000丸と粉末剤7,000g及び乳幼児向けのゼリー状安定ヨウ素剤300包を備蓄。
- 緊急配布は県及び揖斐川町職員が、備蓄先より一時集結所等に設置する緊急配布先に必要な調整を行った上で搬送し、対象住民等に順次配布を実施。

 ぎふけん
 <岐阜県における安定ヨウ素剤の備蓄場所>


安定ヨウ素剤備蓄場所

ぎふけん
岐阜県: 4箇所

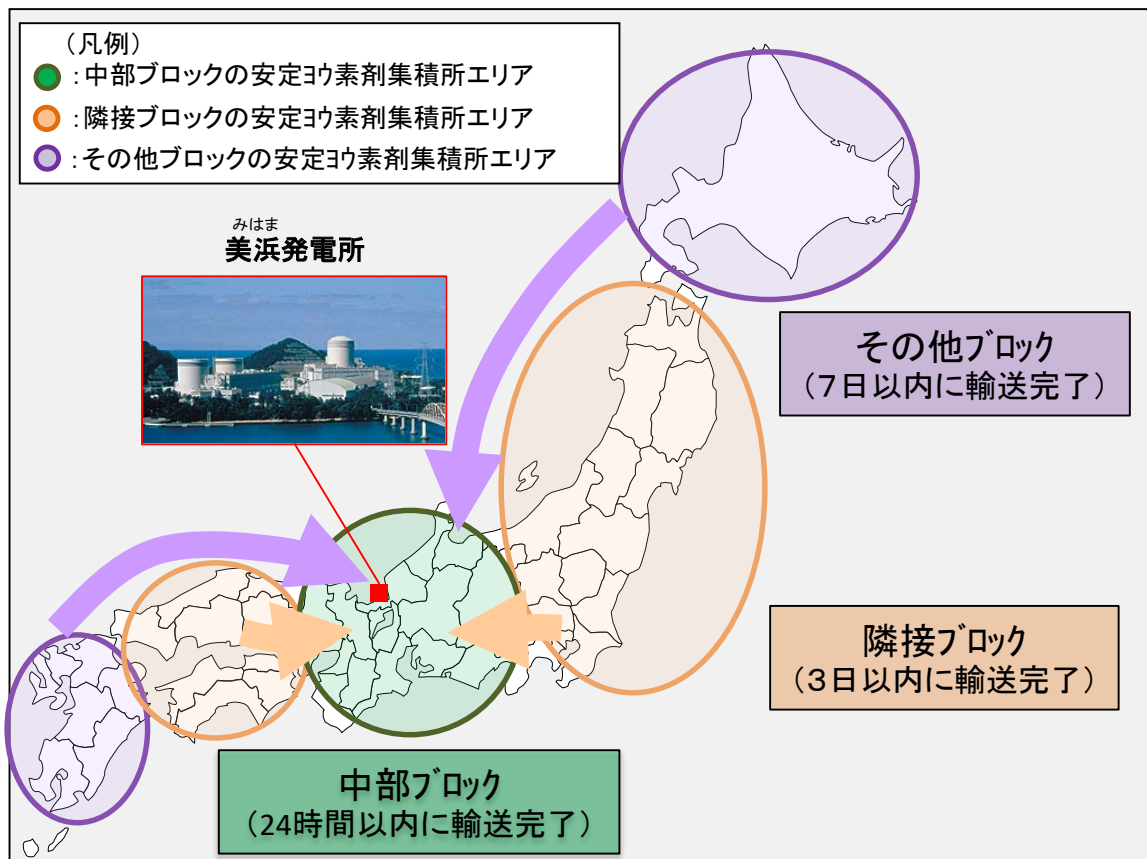
県及び町職員により、安定ヨウ素剤の搬送を実施

安定ヨウ素剤の緊急配布を実施

一時集結所等
(計8箇所)いびがわちよう
揖斐川町: 8箇所

国による安定ヨウ素剤の確保体制

- 国は、UPZ内において安定ヨウ素剤が不足した場合、およびUPZ外において安定ヨウ素剤を必要とする場合に備えた備蓄を実施しており、全国を5つのブロック(北海道、東北・関東、中部、中国・四国、九州)に分け、5箇所の安定ヨウ素剤集積所に、丸剤200万丸、乳幼児向けゼリー状安定ヨウ素剤15万包の備蓄を実施。緊急配布場所への輸送は、中部ブロックの安定ヨウ素剤集積所から24時間以内、隣接ブロックの安定ヨウ素剤集積所から3日以内、その他ブロックの安定ヨウ素剤集積所から7日以内に完了する体制。
- さらに、不足の場合には、民間工場での全力生産及び海外からの援助等により、必要数を確保。



ふくいけんみはま
福井県美浜オフサイトセンター



安定ヨウ素剤集積所



UPZ内外の安定ヨウ素剤
緊急配布場所

関係機関による安定ヨウ素剤の確保体制

- 国による安定ヨウ素剤の確保体制に加え、万々に備えて「安定ヨウ素剤貸与に関する覚書」に基づき、関西広域連合においても、UPZ内外で安定ヨウ素剤が必要な場合に、関西電力と貸与可能な数量を調整し、安定ヨウ素剤を確保できる体制を構築。
- また、関西電力は、必要に応じて、電気事業連合会と貸与可能な安定ヨウ素剤数量を調整。

